

ランチョンセミナー

アガリクス・ブラゼイにおける最新研究と業界の取り組みについて

アガリクス・ブラゼイ協議会 豊田 剛史

私たちアガリクス・ブラゼイ協議会は、アガリクス・ブラゼイをご利用者に安心してご利用いただけるよう種々の取り組みを行っている。安全性への取り組みとして安全性自主ガイドラインを制定・遵守を徹底し、それを満たす製品には協議会ロゴマークを貼布することでどの製品が安心してご利用いただけるかを消費者に分かりやすく提示している。また最新研究情報や安全性に関わる文献収集を行い、消費者に情報発信している。

最新研究情報例として当協議会加盟企業のビーエイチエヌ(株)は、ヘビースモーカーやメタボリックシンドロームなどライフスタイルの異常等により酸化ストレスが増大している被験者45名を対照群、BHNアガリクスエキス末 (Ag-Ex) 1包摂取群、3包摂取群の3群に分けてAg-Exを28日間摂取してもらい、その安全性と免疫能やQOLなどに対する有効性について検討を行った。

その結果、安全性については、30名のAg-Ex摂取群の中で、2名で一時的な不快感を認めたが、継続により2、3日で改善した。その他では特に異常は認められなかった。

有効性については、まずQOLのアンケート調査では、対照群でQOLが低下したのに対して、Ag-Ex摂取群ではQOLの改善が認められた。さらに免疫能の指標として測定したNK活性についても、対照群で悪化傾向にあるところ、Ag-Ex摂取群で改善が認められた。

本試験結果から、Ag-Exの安全性とライフスタイルの乱れている方への有効性が確認されたとの研究成果が確認されている。

また当加盟企業の(株)エスエスアイは、協和アガリクス茸から抽出された分子量～500の1SY16フラクションを用いて齧歯動物の肺がん、結腸がん、乳がんに対する発がん抑制効果を評価した。1SY16の発がん抑制効果は劇的であり、NNK/AOM/MNUといった発がん物質によって引き起こされるさまざまな分子イベントを有意に抑制した。DNAマイクロアレイを用いた分析においても1SY16はNNKによる多数の発がん遺伝子の発現阻止を含んだ複合的なメカニズムを示唆する研究成果が確認されている。

アガリクス・ブラゼイは日々上記のように研究が進められ、先日厚生労働省からも近年3年間は健康被害の報告は無いという通知が出るなど信用性の高い素材である。ただし、どのような素材でも正しく管理されていないものは安心して利用できないため、業界団体として市場の健全運営に努めている。今後もアガリクス・ブラゼイ協議会は少しでも消費者にとって有益な活動を継続していきたいと考えている。

(参考) アガリクス・ブラゼイの安全性に関するアガリクス・ブラゼイ協議会の自主ガイドライン
原材料の安全性基準について

1. 使用部位（基原）の確認、2. 一般成分において、食品衛生法で定められた基準を満たしている事、3. 残留農薬についてポジティブリスト制で定められた基準を満たしている事、4. 原材料における重金属規定

値を満たしている事、5. 動物を用いた単回並びに反復経口投与試験（90 日間以上）、6. 遺伝毒性試験（復帰突然変異試験 染色体異常試験 小核試験）を必須試験とする。

個別商品の安全性基準について 7. 原材料で 1~6 を満たし、且つ副原料（賦形剤を除く）が含まれていない場合はヒトでの過剰摂取試験が免除される。安全性試験が行われていない、または副原料が含まれている場合はヒトでの過剰摂取試験を行う必要がある。8. ヒトでの過剰摂取試験 ヒト（10 名程度）による 4 週間の過剰摂取試験（3 倍量以上）、9. 相互作用を引き起こす副原料が配合されていないか確認を行う。10. 一般成分において食品衛生法で定められた基準を満たしている事。11. 残留農薬についてポジティブリストで定められた基準を満たしている事。12. 個別商品における重金属規定値を満たしている事。

● 細菌類についての規定

大腸菌群は陰性で、一般細菌数（生菌数）は 3.0×10^3 の 3 乗以下とする。

飲料タイプの個別製品・・・清涼飲料水の基準を満たすこと。

それ以外の製品化された個別製品・・・食品衛生法の基準を満たすこと。

● トレースアビリティーについて

原材料きのこ栽培地を事務局へ報告すること。消費者に対し開示できる情報は全て開示すること。

● 重金属基準について

水銀 [Hg]・・・0.5ppm 以下 カドミウム [Cd]・・・3ppm 以下

鉛 [Pb]・・・3ppm 以下 砒素 [As]・・・2ppm 以下（無機砒素として）

共催：アガリクス・ブラゼイ協議会